



2019年6月14日

各位

会社名 プリントネット株式会社  
代表者名 代表取締役社長 小田原 洋一  
(コード番号: 7805 東証JASDAQ)  
問合せ先 常務取締役管理部長 赤江 地衣  
(TEL. 03-3217-5355)

## 2019年10月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2019年3月29日に公表しました2019年10月期第2四半期累計期間(2018年11月1日～2019年4月30日)の業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

### 1. 2019年10月期第2四半期(累計)業績予想数値と実績値との差異(2018年11月1日～2019年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,351	百万円 119	百万円 126	百万円 81	円 銭 14.91
実績(B)	4,080	63	66	35	6.57
増減額(B-A)	△270	△55	△59	△45	
増減率(%)	△6.2	△46.8	△47.0	△55.7	
(参考)前期第2四半期実績 (2018年10月期第2四半期)	—	—	—	—	—

当社は非上場であったため、2018年10月期第2四半期においては、四半期財務諸表を作成しておりません。

### 2. 差異の理由

売上高につきましては、印刷用紙の流通量の減少が予想を上回り、材料を確保することが難しく、受注を制限する商品の数が想定以上であった事等の影響で前回公表予想を下回りました。

損益面につきましては、受注制限により売上高が減少したこと及び下期に見込んでいた広告宣伝費の一部を上期に計上したことにより営業利益、経常利益が前回公表予想を下回りました。また、特別損失として埼玉工場及び九州工場の設備について減損損失を計上したこと、下期見込んでいた東京支店の移転(東京デジタルセンターとして開設)を前倒ししたことによる固定資産除却損の計上の影響等により四半期純利益も前回公表予想を下回りました。

なお、通期業績予想につきましては、売上高について主要な製品の材料となる紙の調達に目処が立ち受注状況が改善されたこと、さらに前回予想公表時よりも製造の内製化が進んでいる事等により、現段階では修正いたしません。業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに開示させていただきます。

(注) 上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上